

# 世田谷区の「美術館」を調べる

\* 調べもの・情報検索における手がかり・役だつ資料の紹介

世田谷区立図書館 編集・発行



【世田谷美術館】

世田谷区には、美術を身近に感じることのできる施設やスポットがたくさんあります。ここでは美術館やそれに類する施設などを紹介します。国宝級の作品を所蔵する館や、世田谷にゆかりのある画家にちなんだ記念館など、その中であなたのお気に入りを探して、調べてみませんか。

## 1 キーワード

「世田谷」、「せたがや」、「美術館」、「記念館」、「アート」、「ミュージアム」、「ギャラリー」、「ワークショップ」など

図書館にあるOPAC(利用者用検索機)や図書館ホームページの資料検索(詳細検索)を利用して関連の図書を探します。

## 2 図書・資料をさがす (世田谷美術館)

●「1」のキーワードを組み合わせて検索をすると…下記の図書等が見つかります。参考事例です。他にもいろいろとありますので検索してみてください！

( )の数字は書誌番号<世田谷区の資料についている固有の番号>です。

**世田谷美術館** ※玉川台図書館に『世田谷美術館資料コレクションコーナー』があります。

1986年3月30日に開館。芸術を心の健康を維持するものとして位置づけ、展覧会や各種プログラム&イベントなど様々な活動を展開し、日常生活と芸術をつなぐ場を提供しています。アンリ・ルソーや北大路魯山人、世田谷ゆかりの作家の作品など約1万7千点の作品を収蔵しています。展示室のほか、アートギャラリーやレストラン、カフェ、区民ギャラリー、ミュージアムショップ、資料室もあり、一日ゆっくりとお過ごしいただける美術館です。世田谷区砧公園 1-2



『鍵のない館長の抽斗』

『美術の森の番人たち』

酒井忠康著 求龍堂 2020年 (006206459)

『鍵のない館長の抽斗』

酒井忠康著 求龍堂 2015年 (005476422)

『美術館のワークショップー世田谷美術館25年間の軌跡ー』

高橋直裕編・著 伊藤公象著 横尾忠則著 生田萬著 郷泰典著  
スタン・アンダソン著 太田三郎著 大竹誠著 飯田鉄著 須藤訓平著  
武蔵野美術大学出版局 2011年(005048269)

『アンリ・ルソーにみるアートフルな暮らしー史上もっとも成功した熟年アート術ー』

勅使河原純著 ミネルヴァ書房 2004年 (004039266)



『美術館のワークショップ』

## 2 図書・資料をさがす (世田谷美術館分館)

### 宮本三郎記念美術館

宮本三郎(1905年～1974年)氏は、石川県生まれの洋画家です。金沢美術工芸大学、名誉教授。

美術館は、1998年にご遺族より4000点近くの作品と10000冊を超える蔵書・資料及び居住していた奥沢の土地が寄贈され、2004年4月に開館しました。世田谷区奥沢5-38-13

#### 『宮本三郎展—繊細な色彩豊かな造形—』

宮本三郎〔画〕 世田谷美術館編集 世田谷美術館 2004年 (004745554)

#### 『宮本三郎の仕事—その眼差しと時代—』

宮本三郎〔画〕 世田谷美術館編集 世田谷美術館 2014年 (006447483)



【宮本三郎記念美術館】  
東急大井町線・東横線  
自由が丘駅徒歩7分

### 清川泰次記念ギャラリー

清川泰次(1919年～2000年)氏は、静岡県生まれの洋画家です。1949年に成城にアトリエ・住居を構えました。

ギャラリーは、自らの財産を文化の振興に役立てることを望んだ生前の遺志に基づき、ご遺族より多数の作品と土地が寄贈され、2003年11月に開館しました。世田谷区成城2-22-17

#### 『清川泰次記念ギャラリー所蔵作品選』

清川泰次〔作〕 世田谷美術館分館清川泰次記念ギャラリー編集 世田谷美術館分館清川泰次記念ギャラリー 2004年 (004001556)

#### 『生誕100年清川泰次—人と作品—』

世田谷美術館編 世田谷美術館 2019年 (006052640)



【清川泰次記念ギャラリー】  
小田急線成城学園前駅  
徒歩3分

### 向井潤吉アトリエ館

向井潤吉(1901年～1995年)氏は、京都府生まれの洋画家です。40年間に渡り北海道から鹿児島まで旅をし、生涯古い民家の絵を描き続け「民家の向井」と呼ばれました。1982年に世田谷区名誉区民となりました。

アトリエ館は、向井氏が長年愛用したアトリエ兼住居を改装して、油彩画やデッサン660余点とともに寄贈され、世田谷美術館分館として1993年7月に開館しました。世田谷区弦巻2-5-1

#### 『向井潤吉の絵画と写真—絵画が語る風景、レンズが見た風景—』

向井潤吉〔画〕 世田谷美術館編集 世田谷美術館 2002年 (003750239)

#### 『向井潤吉 風景へのまなざし—世田谷美術館コレクション選集—』

向井潤吉〔画〕 酒井忠康〔ほか〕執筆 橋本善八〔ほか〕編集 世田谷美術館 2017年 (005976815)



【向井潤吉アトリエ館】  
東急田園都市線  
駒沢大学駅徒歩10分

### 🐾めぐってみよう

『世田谷美術館分館周辺施設めぐりマップ—向井潤吉アトリエ館 清川泰次記念ギャラリー 宮本三郎記念美術館—』 世田谷美術館編集 世田谷美術館 2005年 (004338581)

世田谷美術館と3つの分館をめぐる便利なコース・交通手段などを案内した地図です。

## 2 図書・資料をさがす（区内の美術館など）

### 村井<sup>まさなり</sup>正誠記念美術館

村井正誠(1905年～1999年)氏は、岐阜県生まれの洋画家です。抽象絵画の草分けの一人として活躍し、1997年には世田谷区特別文化功労者となりました。

美術館は、村井氏が居住していたアトリエに展示スペースを作り、2005年に生誕100年を記念して開館しました。作品の他未発表の資料や生前身の回りにあった品々も展示しています。美術館設計は隈研吾事務所です。世田谷区中町1-6-12

『村井正誠 あそびのアトリエ』 酒井忠康〔ほか〕執筆 三木敬介〔ほか〕編集

世田谷美術館 2020年(006135024)

「人」をテーマとして独自の雰囲気や纏う絵画や、様々な素材により作成されたオブジェなどが紹介されています。

### 静<sup>せいかどう</sup>嘉堂文庫

三菱第2代社長である岩崎彌之助氏が1892年に創設。その子、小彌太氏によって拡充された。国宝7件、重要文化財84件を含む、およそ20万冊の古典籍と、約6,500件の東洋古美術品を収蔵しています。

※美術館は2022年10月1日より区内から移転。移転先:千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1F  
美術品の保管管理・研究閲覧業務、書庫や敷地・庭園の管理業務は世田谷区岡本にて行っている。

『日本の近代美術展—岩崎弥之助・小弥太蒐集—』 静嘉堂文庫美術館編 静嘉堂文庫美術館  
1993年(005697433)

展覧会カタログや55作品の目録や解説が掲載されています。

### 長谷川町子美術館・記念館

※中央図書館に長谷川町子作品をあつめた「サザエさんコーナー」があります。

長谷川町子(1920年～1992年)氏は、佐賀県生まれの漫画家です。代表作である「サザエさん」の舞台であり、作者自身も居住していた桜新町は、「サザエさんの町」として多くの方に親しまれています。1992年、国民栄誉賞を受賞しています。美術館は1985年に、記念館は美術館の分館として2020年に設立されました。世田谷区桜新町1-30-6

『別冊太陽 長谷川町子—昭和を描いた国民的漫画家 長谷川町子美術館・記念館公式ブック』 長谷川町子美術館監修 平凡社 2021年(006276772)

「サザエさん」「いじわるばあさん」など、昭和を描いた国民的漫画家である長谷川町子さんの生涯をたどり、知られざるマンガや絵本、エッセイなど多岐にわたる仕事を紹介しています。



『サザエさん』

### 五島美術館

財団法人の美術館として1960年4月18日に開館しました。美術館の構想は東急グループの礎を築いた五島慶太(1882年～1959年)氏によるものです。五島氏は鉄道事業の傍ら、半生をかけて古写経をはじめ美術品の数々を蒐集しました。美術館には「源氏物語絵巻」をはじめ国宝5件、重要文化財50件を含む約5000件の作品を収蔵しています。世田谷区上野毛3-9-25

『光悦—桃山の古典 特別展「光悦-桃山の古典」図録—』 五島美術館学芸部編集 大東急記念文庫学芸部編集 五島美術館 2013年(005329757)

「本阿弥家関連」「書跡」「陶芸」「漆芸」「出版」の諸分野から光悦を紹介した大規模展覧会の図録です。

## 2 図書・資料をさがす（区内の美術館など）

### 齋田記念館

齋田家は、中世には世田谷城主・吉良氏の家臣となり、江戸時代中期以降幕末までは代田村の名主でした。九代目の萬蔵（雲岱）は動植物の写生画や博物図譜を遺しています。また、幕末の十代目平太郎の代には、茶業を始めています。

記念館は、茶との関わりの深い齋田家が資料保存、公開、調査研究助成を行い、国の茶文化の振興に寄与することを願い 1997 年齋田茶文化振興財団の展示施設として開館しました。世田谷区代田 3-23-35

『江戸の博物図譜―世田谷の本草画家齋田雲岱の世界 特別展図録―』 齋田雲岱〔画〕

齋田記念館編集 世田谷区立郷土資料館編集 世田谷区立郷土資料館 1996 年（003164799）

名主の職を務める傍ら、数多くの博物図譜を残した齋田雲岱の偉業を紹介するとともに、当時の庶民文化・村社会の様相を取り上げた特別展の図録です。

### 福沢一郎記念館

福沢一郎（1898 年～1992 年）氏は、群馬県生まれの洋画家です。福沢氏は一貫して主題をいかに表現するかを追求し続けた異彩を放つ作家で、昭和初期における「シュルレアリズム絵画」の紹介者として、広く知られています。

記念館は、福沢氏のアトリエや書斎、居室の一部を改装し、絵画の展示や講演会の場として 1994 年に開館しました。世田谷区砧 8-14-7

『福沢一郎展―生誕 90 年 時代を飛翔する画想―』 福沢一郎〔画〕 世田谷美術館〔ほか〕編集

世田谷美術館 1988 年（003155021）

福沢氏の画業の全貌を、初期から当時の最新作までの代表作によって紹介した展覧会の図録です。

### 佐藤記念館

佐藤助雄（1919-1987）氏は、山形県生まれの彫刻家です。母性を最も高位に置いた慈愛あふれる女性像を残し、世田谷区の文化事業にも積極的に関わり様々な業績を残しました。

記念館は 1991 年に開館し、佐藤氏のアトリエを記念館として公開しています。ブロンズや石膏原型、資料などが常設展示されています。世田谷区豪徳寺 2-5-9

『世田谷彫刻物語』 世田谷区総務部文化課 1990 年（003321561）

区内の公園や広場などに設置された彫刻の鑑賞手引きです。「平和の祈り像」、「フルーツの調べ」など、佐藤助雄の作品が多数掲載されています。



「フルーツの調べ」

## 3 インターネットでさがす ―より詳しく知るには(ホームページ)―

- \*「世田谷美術館」 <https://www.setagayaartmuseum.or.jp>
- \*「せたがやアーツナビ(せたがや文化財団)」 <https://www.setagaya-bunka.jp>
- \*「村井正誠記念美術館」 <http://www.muraimasanari.com>
- \*「長谷川町子美術館」 <https://www.hasegawamachiko.jp>
- \*「齋田記念館」 <https://saita-museum.jp>
- \*「福沢一郎記念館」 <https://fukuzmm.wordpress.com>



※掲載施設はきっかけづくりの一例です。訪れる際にはあらかじめ開館状況を確認してからお出かけください。